

 **サイバーセキュリティの置き薬** 平成30年 第5号

標的型メール攻撃

～あなたの会社が狙われています！～



標的型攻撃メールとは？

特定の組織から**重要な情報**を盗むこと等を目的として、組織の担当者が業務に関係するメールだと信じて開封してしまうように**巧妙に作り込まれたウイルス付きのメール**のこと。

こんな情報が狙われます

- ・顧客、社員の個人情報
- ・営業秘密、技術情報
- ・取引先や顧客とやり取りしたメール



標的型攻撃メールの被害を防ぐには？

重要なのは、従業員一人一人の**セキュリティ意識**を高め、日頃から**危機意識**を持って業務に当たることです。そのためには、**経営陣を含めた全従業員**に対する訓練や教育等による**意識付け**が必要です。



具体的な対策として

- ウイルス対策ソフトを導入し、常に最新の状態にしておく。
- OS・ソフトウェアを最新の状態にしておく。
- メール添付ファイルは安易に開かない。
- メールに記載されたURLをクリックしない。

そして、標的型攻撃メール等の不審メールが届いた際は、組織内で**情報共有**することが**重要**です。

※サイバーセキュリティの置き薬とは

富山の薬売りで親しまれている「置き薬」になぞらえて、皆さんのサイバーセキュリティ対策の助けとなる様に情報を発信していくものです。